地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

たかそう連携だより

2023年発行
第192号

1月号

新年のあいさつ …… 2
地域医療支援・連携センター長　佐藤 正通

第29回地域連携症例検討会 …… 3
呼吸器内科医師
板井 美紀　　内田 恵

診療科紹介　眼科 …… 4
眼科部長　土屋 明

院内災害対策訓練を開催して …… 5
庶務係長　佐々木 祐太

RST（呼吸サポートチーム）とは？ …… 6
救急科 副看護師長　小井戸 妙子

認知症ケアチームの活動 …… 7
認知症ケアチーム
篠遠 宏季　　南本 るみ子　　羽鳥 多恵

診療放射線科だより …… 8
栄養だより …… 9
医師紹介コーナー …… 10
地域医療連携登録医のご紹介 …… 11
セカンドオピニオンのご案内 …… 12〜13
外来診療担当表 …… 14〜15
院長閑話 …… 16

どんど焼き

高崎だるま

少林山
達磨寺

撮影：患者サポートセンター　須賀 麻子・今城 直美

●地域医療支援病院　●がん診療連携拠点病院
独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL https://takasaki.hosp.go.jp/
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】
患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】
- ●常に患者さん本位の医療を心がけます
- ●研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- ●医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- ●良き医療従事者の育成に努めます
- ●臨床研究を推進します
- ●健全な病院経営を行います

【看護の理念】
人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】
- ●誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- ●患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- ●病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- ●他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- ●病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- ●医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年のあいさつ

高崎総合医療センター
地域医療支援・連携センター長　佐藤 正通

令和五年、
新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、高崎総合医療センターが主催します診療検討会やセミナー（勉強会、講演会）等に多くの地域医療を担う登録医の先生方に御参画頂き、誠にありがとうございました。また、紹介・逆紹介、転院などの診療実務の面におきましても、コロナ禍にありましても、多大なるご理解に基づき、診療実績として、ご支援を頂きましたことに改めて感謝の意を申し上げます。

高崎総合医療センターでは、2020年1月より新型コロナウイルス感染症対応につきまして、地域診療の一躍を担って参りました。あれから既に3年が経過しようとしております。最近においては、COVID-19の軽症化（死亡率低下 ：2022年12月の時点では、インフルエンザウイルス感染症と同等の水準まで低下してきております）や、効果が期待出来る薬剤の開発、またワクチンの普及等により、感染症法2類から5類とする審議が政府分科会では始まっております。皆様もご存じのように、既に国内のどの地域においても、その圧倒的な感染力による感染拡散により、COVID-19患者全員の入院診療は当初より困難であり、重症化リスクや病状の進行状況によって入院診療を用いるといった方針をどの地域でもとってきたと記憶しております。第8波を迎えた時節にあって、多くの医師の胸中にあるのは、「ようやくここまで辿り着いた」といった気持ちと、住民のワクチン接種や院内感染対策などを含めますと「まだまだ安心はできたものではない」といった気持ちが入り混じっているものと思います。そしてこれからも新型コロナウイルスは遺伝子の形を少しずつ変えながら、我々の傍に居続けます。新型コロナウイルス感染症の出現も含めまして、変遷していく診療ニーズにどのようにして向き合っていくのかは、人間社会に課せられた大きな課題であることに、あまり変わりはないと考えております。新型コロナウイルス感染症が医療に大きな影響を与えたものの一つに「一般診療」の継続困難（医療崩壊）といったものがあることについては、地域や期間の差はあれど、これを疑う医療者はいないかと思います。高崎総合医療センターでは多くの時間をかけて、地域医療を担う医師、医療者達と共に培って参りましたこの「一般診療の連携」へも今までと変わらず注力して参りました。皆様方同様辛い時期であったと身を以って感じておりますが、高崎総合医療センターにあっては、2020年を除いて、2021年そして2022年と診療実績は2018年を超えて増加の傾向を示しております。これを支えたのは、地域での連携診療であったことは、患者紹介および逆紹介実績からも明白でありました。新型コロナウイルス感染への対応といった大きな試練は、また地域での連携の絆、つまり「連携の深化」をあぶりだした形になったとも捉えております。高崎地域、群馬県西部そして群馬県において、コロナ禍にあっても、人々を疾病や傷病から守る連携診療の絆はさらに前向きに社会での診療ニーズに合わせ成長を続けていると感じております。

本年も皆々様の大いなる活躍と発展、そして挑戦に期待しております。本年もどうぞ、高崎総合医療センターを宜しくお願い申し上げます。

第29回 地域連携症例検討会

呼吸器内科領域疾患の診断と治療の連携

2022年11月18日の地域連携症例検討会では呼吸器内科より報告を行いました。中川呼吸器内科部長からの当科の紹介を行った後、以下２演題発表させていただきました。

非結核性抗酸菌症（NTM）について

呼吸器内科医師　板井 美紀

NTMは土壌や水中など環境中に広く生息する菌で、肺に感染し慢性気管支炎の原因となります。肺のNTM感染は患者数が多く、無症状であり検診で発見される場合や、血痰や咳嗽を主訴に受診され診断に至る場合が多いです。軽症であれば経過観察のみとすることも多いですが、血痰や喀血の原因となり治療を要することもあります。NTMのなかでも菌種や臨床病型によって対応は異なります。今回は、肺NTMの診断や治療について発表させていただきました。また地域の先生よりご紹介頂いた肺NTMについて、軽症で経過観察のみの例、治療介入を要した例、非典型例、難治例の４例を症例提示しました。

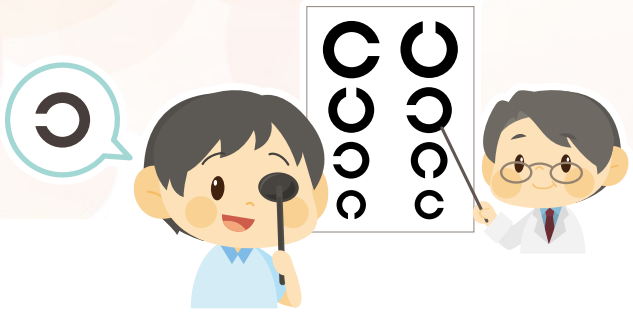
肺癌診断・治療の流れについて

呼吸器内科医師　内田　恵

肺癌罹患率は男女ともに上位であり、現在も増加傾向です。治療の進歩に伴い予後は改善傾向ですが、進行期の５年生存率はまだ厳しいのが現状です。肺癌を疑いご紹介いただいた際の診断の流れ、組織型・ステージ別の治療方針について発表させていただきました。また、当院でも近年施行可能となったドライバー遺伝子の検索 ： コンパニオン診断の結果を元に、ご紹介いただいた希少な遺伝子変異陽性の肺癌症例について2例、細胞障害性抗がん剤と免疫チェックポイント阻害薬の併用が奏功した1例について症例提示を行いました。

新型コロナウイルス感染症の流行により地域の先生方との検討会等が以前より少なくなってしまっている現状がありますが、今回のようにご紹介いただいた貴重な症例について情報共有を行い、今後も連携を取らせていただければと考えております。呼吸器疾患をお持ちの患者さんにより良い医療を受けていただける様、努力してまいります。今後とも高崎総合医療センター呼吸器内科をよろしくお願いいたします。

眼科の紹介



眼科部長
土屋　明

眼科は、医師1名、視能訓練士4名（常勤2名、非常勤2名）、看護師1名、メディカルアシスタント1名（2名で交替）で診療を行っています。

当院では眼科分野でもう一つ眼形成眼窩外科（笠井医師）という診療科があります。まぶた（眼瞼下垂や逆さまつげ、腫瘤等）の疾患や涙が鼻の方に流れていく通り道（鼻涙管等）の詰まり、腫瘍や外傷、甲状腺眼症など、眼球周囲の疾患を診療しています。

ところで皆さんは視能訓練士という職種をご存じですか？

眼科では視力検査等様々な検査を行っていますが、その検査を行っているのが視能訓練士です。視能訓練士は国家資格を持ったスペシャリストで眼科の検査一般（視力検査、視野検査、眼底画像検査等）を行うことが多いですが、健診業務や文字どおり視能訓練（遠視や乱視などによって視力の発達が遅れた弱視のお子さんや斜視に対して視能向上のため訓練）を行う職種です。

当院では視力検査、眼圧検査、視野検査、網膜電位図、視覚誘導電位、両眼視などの検査や遠用めがね（普段かける遠くを見る用）・近用めがね（老眼鏡）・遠近両用めがねの処方のための検査等をすべて視能訓練士が行っています。

外来診療は眼科一般で、火曜日から金曜日まで朝８時半から11時までの受付です（月曜日は予約の方のみの診療）。

診察時眼底の状態や白内障等の詳細な検査を行うときには瞳を開く目薬をして検査を行うことがあります。この場合目薬の効果が4-5時間続きまぶしくなり見にくくなりますのでご自分で運転しての受診は控えていただいた方が良いと思います。

糖尿病の患者様は自覚症状がなくても網膜症の進行が起こっていることがあり定期検査が必要なため、糖尿病治療を他院で行っている方には糖尿病眼手帳で情報の提供・内科主治医との情報共有ができるようにしています。

手術は、白内障手術、緑内障手術などを入院で行っています。現在はほとんどが白内障手術で月曜入院、火曜日手術、水曜退院の２泊３日です。

両眼ご希望の場合、多くは２週間後に反対眼の手術を予定させていただいています。

多くの手術患者様は近隣の先生方からのご紹介のため、手術終了次第、紹介元の先生のところでまた診ていただくようにしております。

先生方にはご紹介・術後の経過観察等いつも感謝しております。

今後も眼形成眼窩外科と協力して診療にあたっていきますのでよろしくお願い致します。

院内災害対策訓練を開催して

庶務係長　佐々木 祐太

令和4年11月９日（水）に当院講堂にて、院内災害対策訓練を実施致しました。昨年度は、全て机上訓練にて講義形式で実施致しましたが、今年度は当院職員約100名に、外部の参加者・見学者約10名を加え、約110名により、実動と机上を合わせた訓練を実施致しました。

本部長は鯉淵副院長、副本部長兼インストラクターは、町田救急科部長に行っていただきました。

訓練は、令和４年11月９日（水）13時00分に当院近隣で発生した大規模なバス事故にて約30名が負傷したという想定で行われ、災害対策本部の設置、傷病者の受入体制の構築（トリアージ・赤・黄・緑・黒等、各エリアの立ち上げ）を実動で行い、救急搬送やウォークインにて来院された傷病者の、傷病の程度を判断し優先順位を決めるトリアージの実施、各エリアへの搬送、治療や手術を経て、入院や転院までを机上にて実施致しました。最後には、本部長による記者会見の訓練も実施致しました。

約３年振りの実動を交えた訓練でしたが、町田救急科部長やインストラクターの方々のご協力により、参加者の方々からは「良い訓練だった」「とても勉強になった」など、多くの感想をいただきました。一方で、トランシーバーやPHSの使用方法、通信関係の問題や、傷病者の受け入れから、入院・転院までの流れについての課題も多く見つかったため、今後は、今回の訓練の結果を踏まえて、災害マニュアルの改訂を実施致します。

また、多くの参加者より、実動を主とした訓練を行いたいとの声があがっているため、コロナ禍ではありますが、十分な感染対策を実施した上で、来年度以降は、模擬傷病者等を使用した大規模な実動訓練を実施したいと考えております。

高崎総合医療センターでは、災害や事故により多数の傷病者が発生した際に、迅速かつ冷静に行動し、地域住民の生命を守ることが出来るよう、今後も繰り返し災害訓練を重ねて参ります。

RST（呼吸サポートチーム）とは？

救急科　副看護師長
認定看護師　小井戸 妙子

RSTはRespiratory Support Team、の略で、人工呼吸器を装着している患者さんが、早期に人工呼吸器を離脱できる（外せる）ように支援を行っています。具体的には、患者さんが呼吸をしやすい人工呼吸器の調節や、気管チューブによる苦痛の軽減のために痛み止めの量などを検討します。一昔前、人工呼吸器を必要とする患者さんは、薬で眠らせていることが主流でした。しかし現在は眠る薬剤はなるべく減らし、痛みを取る薬を使用しながら起きている時間を作ることが多くなっています。例えば、人工呼吸を装着しながらテレビ鑑賞して過ごしたり、歯磨きや整髪など自分で自分のことを行います。また、人工呼吸器管理中の患者さんでも、座る練習や足踏み練習を行い、人工呼吸器を装着しながら歩行することもあります。この様なリハビリテーションは、早期に人工呼吸器を離脱することができ、患者さんの回復を早める効果があります。

RSTは医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師など多職種によるチームです。週1回カンファレンスを行い、人工呼吸器を装着している患者さんのベッドサイドに直接赴きます。集中治療を受ける患者さんは、血圧・呼吸・意識の状態が不安定であることが多く、様々な医療的補助が必要となります。当院では、集中治療の専門的な知識を持ったRSTメンバーが人工呼吸療法を安全かつ適切な管理ができるように活発的な意見を出し合っています。

また、各病棟の人工呼吸器専門のリンクナースとも連携を取りながら、人工呼吸器を装着した患者さんを対象に、呼吸リハビリテーションの推進や口腔ケアなど、患者さんのケアに関するアドバイスや勉強会に取り組んでいます。この活動では、患者さんの機能回復や栄養状態の評価も行いながら、よりスムーズな回復をサポートしています。このほかにもRSTリンクナース委員会では、患者さんにより良いケアを行っていけるよう、人工呼吸器や呼吸ケアに関する勉強会なども開催しています。

治療が高度化し入院期間が短縮化されていく中で、高崎総合医療センターRSTでは、チームで常に新しい知見を得ながら、患者さんの早期回復を目指したお手伝いを行っていきます。

認知症ケアチームの活動

認知症ケアチーム
篠遠 宏季

認知症ケアチーム
南本 るみ子

認知症ケアチーム
羽鳥 多恵

当院の認知症ケアチームは、2018年１月から活動を開始し、約4年が経過しました。多職種からなるチームであり、心理療法士、医療社会福祉士、認知症看護認定看護師を中心に入院中の認知症を有する患者さんを巡回しています。対象患者の状態に応じ、心理療法士が認知機能評価を行い、その結果をもとに具体的なケアを検討し病棟看護師と共に実践しています。また、医療社会福祉士が早期に介入し、一日も早く慣れ親しんだ環境へ戻れるよう情報共有を行います。認知症ケアチームは毎月チーム会を開催し、医師、薬剤師、栄養士、作業療法士、病棟看護師も加わり症例検討を実施し、専門性を生かした具体的なケアの提供と情報発信を行っています。

認知機能低下を認める高齢者は、急激な身体の不調に続き入院という環境の変化から恐怖や混乱を生じやすく、入院した時点ですでにせん妄を発症していることも少なくありません。入院前は自立した生活を送っていたとしても、すでに混乱している患者を目の前にした病棟看護師は、入院前の患者をイメージすることが難しい状況にあります。そのため、地域の中で自立した生活ができていたことや、患者の日常生活行動について情報を得ることが重要になります。さらに、せん妄の発症を最小限にし、慣れ親しんだ環境での生活が１日でも早く再開できることを目標にせん妄ケアを実践していく必要があると考えます。昨年度からチーム主催の研修会や看護師を対象にした勉強会を行い、せん妄に対する知識の向上とケアの実践を目標に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響により面会制限を解除できない状況が現在も続いています。患者は家族の声や顔を見ることができず、安心できる環境づくりが難しい状況にあります。だからこそ、家族はもちろんですが連携する地域の病院や訪問看護ステーション、施設等と患者個々の情報をお互いに共有し、切れ目のない支援を目指し院内での取り組みを継続していきます。

医療機器共同利用のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

乳がんを見つける検査方法とは?

乳がんは早く見つけて治療を開始できれば治癒できる病気になってきました。乳房をなるべく残すよう乳房を温存する手術や、乳房を元のかたちに近づけるために再建する手術など、患者さんが自分らしく生きるために医療も進歩しています。自分らしく生きるために、早期発見できる検診を定期的に受けることが重要です。乳がんを見つけるための検査には、マンモグラフィや超音波検査（エコー）が有名です。マンモグラフィやエコー以外にもCT検査やMRI検査を使って、乳がんを見つけることができます。

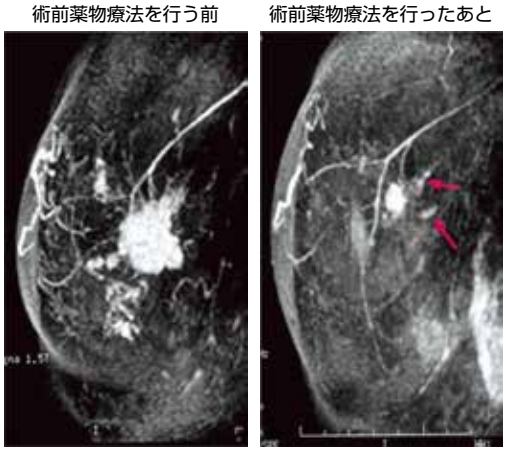
CT検査で乳がんを見つける

CT検査は、体の断面を撮影することができるため、乳がんのしこりの大きさや広がりを診断するために有用性があります。手術をする前の切除範囲を決める際に、CT検査を行うことが多いです。

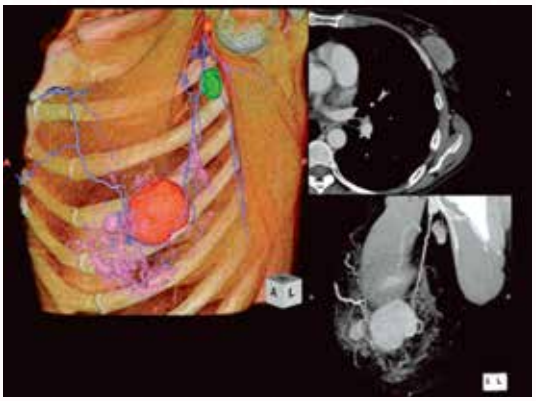
MRI検査で乳がんを見つける

MRI検査は、マンモグラフィやエコーでは見つけることができないしこりを見つけることができます。MRI検査は、しこりとそうでない組織を鑑別することに優れています。乳がんの検査では、通常と異なり筒のような装置にうつ伏せになり、検査を行います。また、画像を鮮明に写し出すために造影剤を使います。欧米では、遺伝的な原因などにより乳がんを発症するリスクの高い人に対して、本人が希望すればマンモグラフィと一緒に、年1回MRI検査を行うことが勧められています。

●MRI（MRM）画像による切除範囲の決定



手術前に行った薬物療法の効果をMRI（MRM）画像でみる。がん自体は縮小しているものの、樹枝状に残った部分がみられる。



高崎総合医療センター

お問い合わせ　地域医療支援・連携センター

TEL 027-322-5835　FAX 027-322-5925

栄養だより

1月20日は甘酒の日

1月20日は「甘酒の日」です！
甘酒は日々の疲れを癒し、身体が温まる飲み物として知られています。
1年の中で、最も寒い時期である大寒の頃に甘酒が最も飲まれていることから、大寒の日（1月20日頃）を甘酒の日として制定しました。また、日本の伝統的な飲み物であり発酵食品である甘酒の良さ、おいしさを多くの人に知ってもらいたいという願いも込められています。

甘酒とは

甘酒には、大きくわけて２種類あります。一つ目は、米と米麹を原料とし、アルコール成分を含まない「麹甘酒」です。昔から庶民の手作り飲み物として親しまれ、作り方も意外と簡単で一晩でできることから一夜酒ともいわれていました。

もうひとつは、酒粕に砂糖を加えて造る「酒粕甘酒」です。酒粕を原料としているため、わずかにアルコール成分が含まれています。運転前、妊娠中の方は飲む際に注意が必要になります。また、酒粕には甘味がほとんど含まれていないため砂糖を追加して製造している特徴があります。

米麹と酒粕の違い

「米麹」とは、蒸した米に麹菌を繁殖させたものです。ごはんやおかゆに麹を混ぜ、保温しておくと米のでんぷんが糖化されて、一晩で甘酒が出来上がります。一方、「酒粕」は日本酒を絞ったあとに残るものです。日本酒のふくよかな香りとコクが特徴です。

甘酒の効果

甘酒は「飲む点滴」と言われています。これは、ブドウ糖やアミノ酸、ビタミン等の栄養素が豊富に含まれている事に由来しています。麹甘酒はオリゴ糖やグルコサミンが多く含まれており、便通改善、肌のバリア機能改善効果があると言われています。

酒粕甘酒は、栄養価が高いだけでなくコレステロール上昇抑制作用や、血圧を下げる作用の他、肌のキメを整えたり、血流改善により体を温める効果など、健康と美容にうれしい様々な働きが報告されています。

甘酒は体に良い様々な効果がありますが、糖質が多くカロリーが高いため肥満や糖尿病のリスクを高める恐れがあります。そのため、1日1～2杯を目安にし、飲みすぎには注意が必要です。

参照：農林水産省（maff.go.jp）
森永製菓株式会社（morinaga.co.jp）

医師紹介コーナー

●外科

牛久保（うしくぼ） 陸生（りくお）

令和4年4月より当院に赴任しております外科の牛久保陸生と申します。出身は埼玉県本庄市ですが、群馬大学に入学してから約10年間、本県で過ごしております。家族でお花見に行くといえば観音山でしたので、高崎市は私にとって馴染み深い地域です。当地域での医療に貢献できるよう、日々精進してまいります。

患者さんやご家族の方にとって、「手術」というのは様々な不安を抱えて臨まれるものだと思っております。手術は人生でそう何度も受けるものではありません。手術の前には病状についてご理解していただけるよう丁寧な説明を心掛け、少しでも不安が解消できればと思っております。術前・術後を安心して過ごせ、患者さんの退院にむけてお手伝いできるよう丁寧な診療を心掛けています。気になることや不安なことがございましたら、なんなりとご相談ください。

地域の先生方におかれましては、いつもご紹介いただきありがとうございます。患者さんと地域に寄り添った医療を目指して頑張っていきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

●脳神経外科

中村（なかむら） 俊介（しゅんすけ）

2022年4月に当院へ赴任しました脳神経外科の中村俊介です。生まれも育ちも前橋市です。群馬大学を卒業後、伊勢崎市民病院で初期臨床研修しました。その後、脳神経外科に入る前に群馬大学リハビリテーション科で3年間研修しました。県内の回復期リハビリテーション病院に勤務し、脳卒中や頭部外傷、脊髄疾患の障害を抱えた患者様の機能・活動の改善、社会復帰に携わってきました。それら疾病・外傷の発生初期から治療できる医師になれるよう、2021年から群馬大学脳神経外科へ入局し現在専攻医研修中です。

脳神経外科が対応する領域は脳卒中をはじめとする脳血管障害や脳腫瘍、脊髄疾患、機能疾患、てんかんや外傷など幅広く、いずれも患者様の生活に直結するものばかりです。治療には必ずメリット・デメリットがありますので、それぞれの患者様・病態を考えてバランスがとれた最適な医療を提供できるよう精進します。

特に脳梗塞の場合、少しでも早く治療を開始できると後遺障害を最小限に防げる可能性があります。疑われた場合にはできるだけ早期の受診・紹介をお願い致します。西毛地区の地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

飯塚内科小児科

飯塚内科小児科
院長
飯塚 明男

院長あいさつ

私は日本大学医学部卒業後、群馬大学にて内視鏡（胃・大腸）、特にポリープ切除術、また早期癌焼却切除を会得いたしました。

『患者さんを親切丁寧に診療治療する』をモットーに、気軽に相談できる医師として、これからも皆様に最良な医療を届けていきたいと考えています。

診療科・病院案内

内科・小児科・消化器内科・内視鏡内科・循環器内科
呼吸器内科・糖尿病内科

▲：土曜午後は14時～18時

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:00)	●	●	●	●	●	●	
午後(14:00～18:30)	●	●	●	●	●	▲	

埼玉県本庄市栄1-1-33　TEL:0495-24-6311

当院では内科・小児科と幅広く診療しており、現在、病棟19床（急性８床 療養型11床）を構え、禁煙外来、ED外来、訪問診療（往診）も行っています。胃カメラは来院日当日、大腸カメラは最短で来院日翌日に検査が可能です。

地域の皆さまから「頼りにされる」「役に立つ」医院として、引き続き診療に取り組んでまいります。

桐山クリニック

桐山クリニック
院長
桐山 真典

院長あいさつ

豊富な診断と治療の経験を生かし胃腸や消化器の内視鏡検査や治療を専門的に行っています。じっくりお話をうかがい、早期発見・早期治療による安心した毎日を目指しています。体の悩みや困っていることがあればご相談下さい。正確な診断と治療であなたにあった医療を一生懸命行っていきます。

診療科・病院案内

胃腸内科・内視鏡内科・麻酔科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	●	●		●	●	●	●
13:00～16:00	◉			◉	◉	◉	◉
16:00～18:00	●			●	●		

【受付時間】
午前 8:45～11:30
午後 15:00～17:30

●：一般外来・内視鏡検査／手術　◉：予約検査／手術優先

群馬県高崎市末広町235-8　TEL:027-310-1234

桐山クリニックは胃腸・消化器を専門とし大腸カメラと胃カメラの検査や治療を毎日行っています。検査や治療を少しでも楽に気持ち良く受けられるように取り組むクリニックです。最新の医療技術を生かし、つらくない内視鏡検査を心がけています。明るい笑顔で皆さんをお待ちしております。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科　【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺･内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科

予約方法

完全予約制　代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『**セカンドオピニオン係**』とお申し付け下さい

【受付時間】　月曜～金曜　8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜　8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させて頂きます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜　13時30分から15時30分の間で調整

費　用

30分以内　5,500円(消費税込み)
30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。
医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。
その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。
当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科　名	医師名	専　門	曜　日
内科	佐藤　正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田　逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川　純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼　篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田　智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井　知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田　昌樹	不整脈一般	水
	福田　延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐　恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元　一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵　幸生	乳がん全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
	髙他　大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野　哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部　崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂　貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中　志岳	脳腫瘍	月
	笹口　修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤　晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤　郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田　康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋　明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸　幾	画像診断ＣＴ・ＭＲ中心	木
	佐藤　洋一	画像診断ＣＴ・ＭＲ中心	火
放射線治療科	永島　潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川　元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺　孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤正通 飯塚尭	佐藤正通 予約のみ 植原大介	(真下大和) 予約のみ	佐藤正通 飯塚尭 (合田史) 午後・予約専門外来	佐藤正通 植原大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢信行	新井茉莉 (植原良太)	植原正也 新井茉莉	渋沢信行 午後	渋沢信行 植原正也
神経内科	椎名葵 午前 (池田雅美)	平柳公利	菊池雄太郎 平柳公利 初診のみ	丸山琴音	清水一輝
呼吸器内科	中川純一 神山花凛 午前	細野達也 内田恵	田口浩平 黒岩裕也	中川純一 板井美紀	細野達也 内田恵
消化器内科	長沼篤 午前 安岡秀敏 午前 上原早苗 午前 都丸翔太 午前 (石原弘) 午後	星野崇 午前 鈴木悠平 午前 佐野希望 午前 都丸翔太 午前	柿﨑暁 午前 安岡秀敏 午前 増田智之 午前 成清弘明 午前 (石原弘) 午後	長沼篤 午前 増田智之 午前 鈴木悠平 午前 (工藤智洋) 第2, 4週午後	星野崇 午前 佐野希望 午前 鏑木琢也 午前 古澤愛 第1, 3, 5週午前 古市望 第2, 4週午前 (岡野祐大) 午後
上部内視鏡検査	星野 ／ 増田 ／ 成清	安岡 ／ 増田 ／ 鏑木	上原 ／ 佐野 ／ 都丸	上原 ／ 佐野 ／ 都丸	長沼 ／ 鈴木 ／ 岡野
心臓血管内科（循環器）	太田昌樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村田智行 午前 大駒直也 第1, 3週午前	小林洋明 高橋伸弥 午前	広井知歳 太田昌樹 午後：不整脈外来 羽鳥直樹 午前	福田延昭 午前 髙橋洋右 第1, 3週午前 千吉良彩花 第2, 4午前	太田昌樹 第2, 4週午後：ペースメーカー外来 小林紘生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 柴田悟 午前
新患外来（午前）	高橋伸弥	柴田悟	村田智行	羽鳥直樹	小林洋明
心不全予防外来		第2・第4午後			
精神科	井田逸朗 山﨑雄高 午前	井田逸朗 山﨑雄高 午前	井田逸朗 山﨑雄高 午前	井田逸朗 山﨑雄高 午前	井田逸朗 山﨑雄高 午前
小児科	五十嵐恒雄 午前 内田亨 御任紫野 午後 (荒川篤康) 午前	五十嵐恒雄 午後 倉田加奈子 午前 坂本康大 午後は第1, 2, 3, 5週のみ (神尾綾乃) 第4週午後	五十嵐恒雄 午前 倉田加奈子 午後 佐藤幸一郎 午後 (滝沢琢己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	倉田加奈子 午前 植原実紅 柴塚拓巳 午後 (西澤拓哉) 午後 (岩脇史郎) 午前	五十嵐恒雄 午後 佐藤幸一郎 永井裕介 午後は第1, 2, 4, 5週のみ (浅見雄司) 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科（消化器）	坂元一郎 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来 田中成岳 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川哲史 午前 星野万里江 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来	岡田幸士 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来 生方泰成	平井圭太郎 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来 牛久保陸生 午前	宮前洋平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来 井田晃頌 午前
栄養サポート外来		小川哲史 午前			
禁煙外来		小川哲史 午後			
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	

① 外来診療受付時間

8:30～11:00迄（予約の場合は最終予約時間まで）
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

② 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 午前	栗原聰太 柴田康博 午前	交代制	柴田康博 午前：通常/午後：不妊外来 井上雅晴 午前	交代制
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前	鯉淵幸生 髙他大輔 午前 徳田尚子	鯉淵幸生 髙他大輔 徳田尚子	(荻野美里) 第2, 4週午後 (田邊恵子) 第1, 3, 5週午後 交代制 午前・予約	髙他大輔 午前 徳田尚子 第1, 3, 5週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 齋藤健一 加地卓万	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 加地卓万	新井厚 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 齋藤健一 一ノ瀬剛
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	交代制
脳神経外科	田中志岳	栗原秀行	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科	上原顕仁 午後 (井上千鶴) 午前	上原顕仁 午前 (茂木精一郎) 第2, 4週午前	上原顕仁 午前 西尾麻由 午前	上原顕仁 午前 西尾麻由 午前	上原顕仁 午前 西尾麻由 午前
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 大枝涼平	<産後健診>	峰村成 午前 (金井眞理) 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 大高建	永島潤 大高建	永島潤 大高建 弓崎晃 午前	永島潤 大高建	永島潤 大高建 富澤建斗 午前
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	薬師寺孝 紹介・予約	薬師寺孝 紹介・予約 柴野正康 紹介・予約	<手術日>
新患外来	薬師寺孝 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制 紹介・予約	
歯科（歯科麻酔） 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1, 3, 5週のみ、紹介・予約 木村将典 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2, 4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 木村将典 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 木村将典 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

（　）の医師は非常勤です。

令和5年1月1日現在

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。
※心臓血管内科は平日8：30～11：00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。
※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11：00～15：00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。（予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。）

4 連絡先

高崎総合医療センター内 **地域医療支援・連携センター**

医療機関専用ダイヤル：027-322-5835《平日 8:30～18:30／土曜日 8:30～17:15》
FAX：027-322-5925《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

COLUMN

断捨離しますか？

院長閑話

vol.22

病院長　小川 哲史

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

さて、みなさんは年末に大掃除はしましたか。私は昔から掃除や片付けが苦手で、今も院長室はすぐに書類や本の山ができてしまいます。以前から「断捨離」という言葉が流行っていて、捨てることの美徳が言われてますが、私は古くなった書類や文献の類は「いつか使うかも、その時にないと困るだろうな」の老婆心や、古い服や靴も「まだ着られる、履ける」のもったいない感や「この服はあの人に…」など、昔の思い出による愛着からなかなか捨てられません。

デジタル化が進み、物体としてのモノが少なくなり、音楽もレコードやCDなどで聴く人はほとんどいなくなりました。YouTubeなどで簡単に昔の画像や音楽を視聴できて、私も頻繁に利用しますが、昔のレコードはジャケットも魅力的で、手触りがすべすべだったり、ざらざらだったり、凹凸や切り抜きがあったり、見開きものもたくさんありました。またレコードと一緒にライナーノーツや歌詞カード、写真集もあったり、ワクワクするものが沢山入ってました。中高生の頃、部屋に飾って飽きもせずずっと眺めていたビートルズのLPアルバムのジャケットを見たり触ったりすると、今でも胸がときめきます。その触感から心が癒されてオキシトシンが分泌しているのでしょう。

昔に読んだ本や聴いたレコードを家の中にいつでも取り出せるように、できれば本棚など見えるように置いておくと、背表紙を見ているだけでも楽しいし、時には手に取ってみるのもいいですね。手に取れるモノがあれば、触覚や嗅覚など五感を通して過去の記憶が刺激され、自分一人の幸せな物語、楽しかった回想の世界に浸れます。まさにラッセルが説く幸福（自分が好きな趣味や興味のあるものに没頭し、自分の欠点や他者との勝敗に無関心になる）の世界、脳内には幸福物質が大量に分泌されている至福の時で、これこそデジタル世代にない私たちアナログ世代の特権だと思います。

先日、家を整理していたら保育園から中学校までの連絡帳、通信簿が出てきました。母がしまっておいたものでしょう。ドキドキしながらほぼ半世紀ぶりに手にしました。その通信簿には、学習や生活の評価がゴム印で押してあり、また通信欄には担任の先生と両親との間で、学校や自宅での様子や態度、また指導内容などが万年筆で書かれていました。良いこと悪いこと様々な事が書かれていましたが、保育園の連絡帳には還暦を過ぎた今も見られる悪癖や短所も指摘されていて、先生の観察力と分析力には感嘆しました。「三つ子の魂百まで」で、人間の性格はそうそう変わらないものだ、と妙に感心しました。そして古い紙の匂いと手触りとともに、今は亡き父母の笑顔や小言、その時の空気感までが鮮明によみがえり、育ててくれた両親や先生への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

加齢に伴い将来のことを考えるより過去を思い出すことが多くなり、過去とともに生きているような時間が長くなると思います。過去の楽しい記憶は残念ながら時間とともに薄れていきますが、昔の楽しい思い出に繋がるものが身の回りにあれば、すぐにタイムスリップし失われた時を求めることができます。他人から見たら全くのガラクタ、ゴミでも本人にとっては大切な宝物です。

最近、私はこれからも愛着のあるものはゴミ屋敷にならない程度に捨てずにおいて、家人に何と言われようと、「生きてるうちは断捨離なんかしないぞ」と思っています。

（1月6日）

INFORMATION

行事などのお知らせ

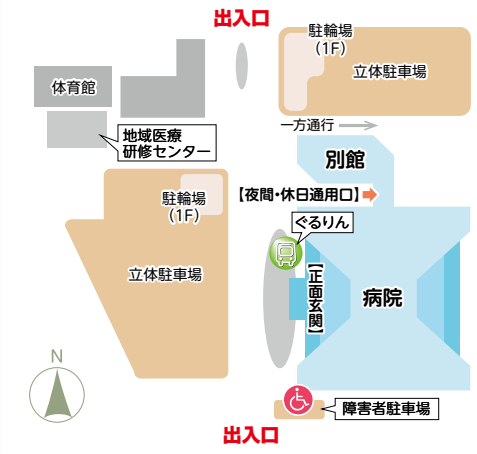
高崎総合医療センター
公式Facebook

●第32回地域連携症例検討会

『消化器内科・外科領域疾患の診断と治療の連携』

日時：2023年2月21日㈫　18:45～20:00
演者：高崎総合医療センター
　　外科部長　　坂元 一郎
　　消化器内科部長　長沼　篤
対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分～17時15分は**正面玄関**をご利用ください。
平日17時15分～翌朝7時30分、土日祝日は**夜間・休日通用口**をご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。
電話 027-322-5835（医療機関専用ダイヤル）

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます　https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html　検索

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター